

学校だより

墨田区立立花吾嬬の森小学校

<http://www.sumida.ed.jp/tachiazusho/>

令和5年1月10日
1月号/第206号
13学級 359名
墨田区立花 1-18-6
電話：3618-4911
校長 向井 一郎

今年もよろしくお祈りします。卯年です。

校長 向井 一郎

快晴の中、初日の出を拝むことができました。いよいよ新しい年です。新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの流行を心配しながらの冬季休業でしたが、良い体験をし、良い新年を迎えることができたことと思います。お正月の行事やしきたりなどを知ることでもできたかなと思っています。3月まではあっという間に過ぎてしまいます。一日一日が充実したものになるように保護者の皆様の力を借りながら学校運営を進めて参りたいと思います。今年もよろしくお祈りいたします。

昨年同様に、今年の干支である「卯」（うさぎ）について考えてみました。もちろん十二支の四番目としての意味も様々あります。調べたところによれば、うさぎのように大きく跳びはねると言うことで「飛躍」、うさぎが子をたくさん産むことから「繁栄」の象徴にもなっていると言うことです。

個人的にはかわいいペットとしての「うさぎさん」が思い浮かびます。昨年の開校十五周年の立吾小キャラクターの「たちラビ」と「あづラビ」もかわいい「兎」です。（動物の場合はこの漢字になるのですね。）

そんなかわいい「うさぎ」を食べたことがありました。ベルギーの日本人学校に勤めていた頃のことです。スーパーマーケットの肉売り場には牛肉、豚肉、鶏肉と一緒に「うさぎの肉」が並べられていました。「ラパン」と呼ばれているその肉は、皮を剥がれ歯をむき出した顔がついたままラップにくるまれて売られていました。近所の公園やお城の広い芝生の上には茶色い野うさぎが走り回っています。もちろん食用に養殖されたうさぎですが、怖くてしばらくは食べられませんでした。あるレストランで、チェリービールで煮込んだうさぎの肉がメニューに載っていました。あまりにもおいしそうなので食べたところ、鶏肉のささみのような柔らかさで、甘いソースの味がしみこんでおいしかったのです。牛肉よりも価格も安く、鍋にも丸ごと入り、調理しやすい材料なので人気があるのだなと思いました。

うさぎの肉を食べたことをしばらくは自慢をしていたのですが、よく考えてみると日本の国内でも「野うさぎ」が毛皮や肉を取るために狩猟の対象となっていたことに気がきました。味噌仕立てにしたらベルギーのビール煮以上の味になるかも知れません。兎が、「一羽、二羽」と、鳥のように数えられている理由もそこにあるのかも知れません。昔の日本人にとって兎はかわいいペットではなく、生活や食事の材料だったのでしょう。

その他、神話の中に登場する「白うさぎ」や、イソップ童話の「うさぎとかめ」の中での足の速いうさぎは、悪知恵を使って後で泣きを見ってしまう気の毒なキャラクターです。足が速いことを「脱兎のごとく」と言いますが、それはうさぎの瞬発力をたたえているように感じます。日産自動車の創業者が大正時代に作った車の名前が「脱兎号」であり、会社名もダットサン（DATSUN）だったということにも頷けます。月にうさぎがいるとされた由来も調べてみるといろいろ面白いことが分かりました。今年人間にとって、こんなに身近な動物である「うさぎ」の年です。きっと楽しくて、うさぎのように飛び跳ねたくなるようなことのでいっぱいになるのではないかなとワクワクしています。

1月の予定



月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
09 成人の日	10 放送朝会 午前授業（給食なし） 安全指導	11 朝読書 給食始	12 集会	13 朝自習	14 土曜授業	15
16 委員会活動	17 学級の時間 避難訓練 発育測定（1・2）	18 朝読書 発育測定（3・4） 区展（図工 21日まで）	19 集会 音楽朝会 発育測定（5・6・な） ※子供を笑顔にする プロジェクト	20 朝自習 たちあづ班活動 （20分休み） 4時間授業 （1年1組研究授業のため）	21	22
23 放送朝会	24 学級の時間 交通安全教室（1） 書き初め展（31日まで）	25 集会 区展（書写 28日まで）	26 読書	27	28	29
30 クラブ活動 （3年クラブ見学）	31 学級の時間	（予定表内にあるカッコ内の数字が学年です。）				



※1月19日（木）は、「子供を笑顔にするプロジェクト」が、2、3校時に実施されます。
女子バスケットボール、元オリンピック日本代表選手の三好 南穂（みよし なほ）さんが来校され、子供たちにバスケットボールについてのお話や、シュート、ドリブルなどの技について、直接ご指導をいただくことになっています。

【お願い】・予定は、新型コロナウイルス感染症等の状況により縮小・中止になることがあります。あらかじめご了承ください。

・給食費、教材費について
保護者の方から集めさせていただいた代金で食材業者、教材業者へ支払いをしています。昨今の原価高騰のため支払いが遅れると業者へも多大な負担をかけ、結果児童への給食提供、教材提供が遅れることとなります。引き落とし期日までに口座入金をどうぞお願いいたします。

副校長 三宅 慶進

今月の目標！

◎生活目標 みんなで使う物を大切にしよう

◎保健目標 冬を健康に過ごそう

◎給食目標 仲良く楽しく食べよう

1 年生活科見学

11月28日（月）に、東あずま公園で生活科見学を行いました。1年生にとって、初めて校外に出るという経験でした。車に気をつけて、間を開けずに歩くことができました。前半は、「あきを見つけよう！」をテーマに、葉っぱや木の実を拾いました。子供たちは、自分で選んだ葉っぱを、大切にビニール袋に詰めていました。一度休憩を挟んでから、校長先生による生き物の説明を聞きました。公園に数本生えているメタセコイアという木は、実は恐竜が食べていたものだそうです。それを知った子供たちは、目を丸くしていました。後半には、自由に過ごす時間を設けました。他の利用者の方と譲り合いながら、楽しそうに遊んでいました。生活科見学での経験を、今後の生活に活かしていきます。



6 年社会科見学

11月29日（火）に6年生は、遊就館と国会議事堂衆議院を見学しました。遊就館では、貴重な資料や当時使っていた物を見て、戦争の悲惨さや戦時中の人々の暮らしについて知ることができました。また、国会議事堂衆議院では、我が国の政治の仕組みやその歴史を知りました。子供たちは、「6年後、18歳になったら、自分も政治に参加しよう。」という気持ちを高めることができました。今回学んだことを基にして、今後の社会の学習をより深い学びにしていこうと思います。



令和4年度の校内研究について

令和4年度は、『地域を愛する児童の育成』をテーマに1年間校内研究を行っています。ここ数年、新型コロナウイルスにより地域との関わりや人との関わりが今まで通りにはできないことが多くありました。そのような中、立花吾孺の森小学校15周年というお祝いの年に、子供たちが住むこの“立花”の地域をもっと知ろう、そしてこの町の素敵なお店や場所を子供たちにたくさん知ってほしい、感じてほしいという思いを込めて研究を進めています。学校周辺にあるお店の方々や、花王株式会社の皆様、墨田区福祉保健部の方々、墨田区伝統保存会の皆様、荒川郷土資料館等たくさんの方々にご協力いただいたおかげで、この学習を進めることができました。また、見学をするにあたり見守りのご協力をしていただいた多くの保護者の方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。多くの方々のおかげで、子供たちは、自分たちの住む立花という地域の人々の温かさ、住み心地のよさを再確認し、自分たちも今後直面するかもしれない問題等についてじっくり考えることができました。子供たちにとってのふるさと墨田区立花を、誇りに思い、大切な場所として思い続けていけるようこれからも子供たちと共に考えていきたいと思っております。最後の研究授業は1年生です。1年生はどんな発見をするのか楽しみです。

